

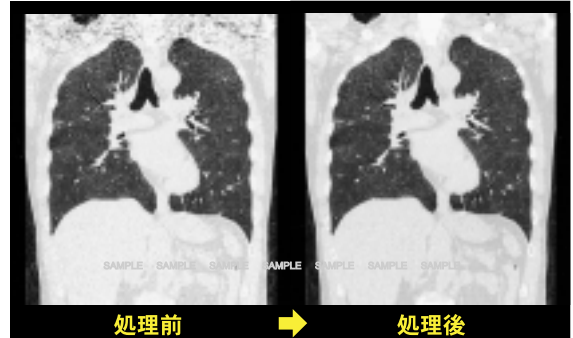
最新のマルチスライスCTで 高精度な精密検査が受けられます

AIDR 3D

被ばく低減と高画質を実現しました

当クリニックでは最新被ばく低減技術(AIDR 3D)搭載の4列マルチスライスCT撮影装置を導入し、さらに被ばく低減撮影方法で撮影を行うことにより、低線量・低被ばくで肺がんCT検診が受けられます。(従来装置比:最大75%低減されます。)

CT検査による痛みや苦痛はありません。



● 逐次近似応用再構成 **AIDR 3D**

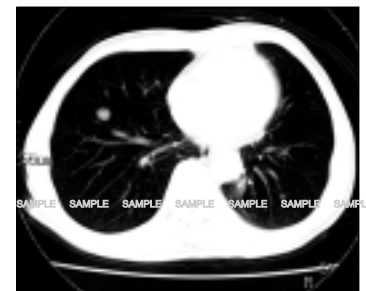
被ばく低減技術搭載のCTによる肺がん検診が注目されています

肺がん死亡を減少させるためには、まず禁煙ですがその次に肺がん検診が重要です。肺がんは日本国内のがんによる死亡原因の1位を占めており、各市町村では、胸部単純X線写真と喀痰細胞診による肺がん検診が施行されています。

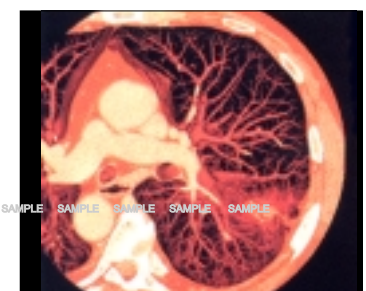
2011年に米国の大規模な臨床研究(30年間 20本/日以上の上の喫煙歴を有する55歳以上の現在あるいは元ヘビースモーカー5万3千人対象)で、低線量の胸部CT検診の方が、単純X線写真の肺がん検診よりも明らかに肺がん死亡率を低下(約20%)させることが報告され、低線量CT検診は、肺がんの早期発見につながる優れた検診方法としての地位を築きつつあります。



● 東芝マルチスライスCTスキャナ **Axiom**



● 肺がん



● 肺がん(3D)

横浜ながつた内科・呼吸器クリニック